平成27年7月 いちのみやし男女共同参画情報紙

事業所向け男廿共同参画出前講座 講師を無料で派遣します!

市内の事業所などに講師を派遣し、ワークライフバランス等の啓発を行います。 講師の派遣は「無料」です!

- ●内容 ワークライフバランスや女性の積極的な登用に関すること
 - (例)・社員の時間管理意識の高め方
 - ・ワークライフバランスとメンタルヘルス
 - ・チームで考える仕事と家事・育児・介護の両立
 - ・管理職向け 女性社員とのコミュニケーションのとり方
 - ・女性社員向け 部下との上手な接し方
- ●申込できる団体(講座開催には15人以上の参加が必要です。)
- ① 市内の事業所、またはその労働組合及び自主グループ

(労働組合及び自主グループの場合は、事業者と共催で実施することができる団体に限ります。)

② 市内の事業者で組織した団体

詳しくは、企画政策課までお気軽にお問い合わせください。ウェブサイトでもご案内しています。

男廿共同参画推進セミナーを開催しました

平成27年2月14日(土)、アット・ワンス株式会社代表取締役の杉本美晴さんを講師に迎え、「話し合いの力とコツを磨こう〜論理的に話せばもっと素敵な私になれる〜」と題し、男女共同参画推進セミナーを開催しました。講演の主な内容をご紹介します。

「女性は、コミュニケーション能力は高いが、論理的に話すことは少し苦手。大事な内容を雑談だと思われたり、感情的だと思われたりして、内容が伝わらないのはもったいない。女性は、今まで話し合いの場に参加する機会が少なかっただけ。相手にきちんと伝わる話し方ができるようになれば、もっと活躍できる。」女性が話し合いの力を身につける必要性を話されました。

【論理的に話す方法】

- ・主語と述語を意識する。
- ・抽象的な表現をせず、事実をきちんと話す。
- ・パブリックスピーキング(何について、どんな人に、どれくらいの時間で、どのような状況で話すのか)を意識する。

【話し合いの進め方】

- ・会議前に出席者の確認や進行予定などを準備し、決定したいことも事前に決めておく。
- ・会議は必ず定刻に開始し、進行内容や会議のルール・役割を確認しながら進める。
- ・会議の場を和ませる「アイスブレイク」や「ブレインストーミング」、「グループディスカッション」など、意見を出しやすくする工夫をする。





受講者の声

第34号

- ・論理的な話し方のコツを知れば自分の 頭の中も整理でき、相手に伝わる話し 方ができると思いました。(30代女性)
- ・子ども会やPTAの会議で早速生かしていきたいです。(40代女性)

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。 『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美編集・発行/一宮市企画部企画政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/*企画政策課のウェブサイトでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については企画政策課にお問い合わせください。

いちのみやし男女共同参画情報紙

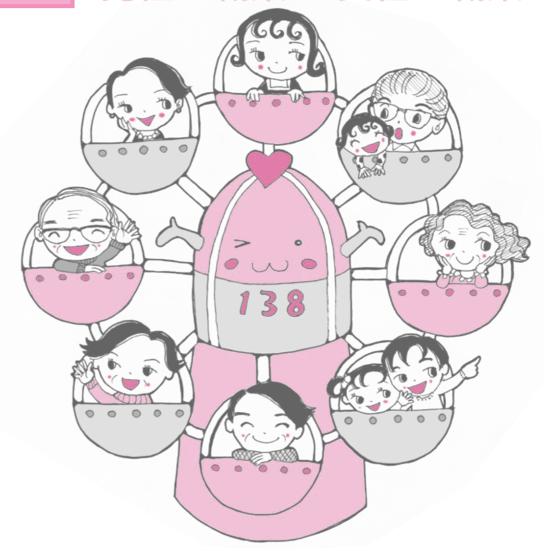


● 素敵なパートナーになるために ●



平成27(2015)年7月

き集 男性の職業? 女性の職業?



皆さんは「これは男の人の職業」、「あれは女の人に向いている職業」と、気づかないうち に職業を「性別」で決めつけていることはありませんか?

でも、「男性の職業、女性の職業」って本当にあるのでしょうか。

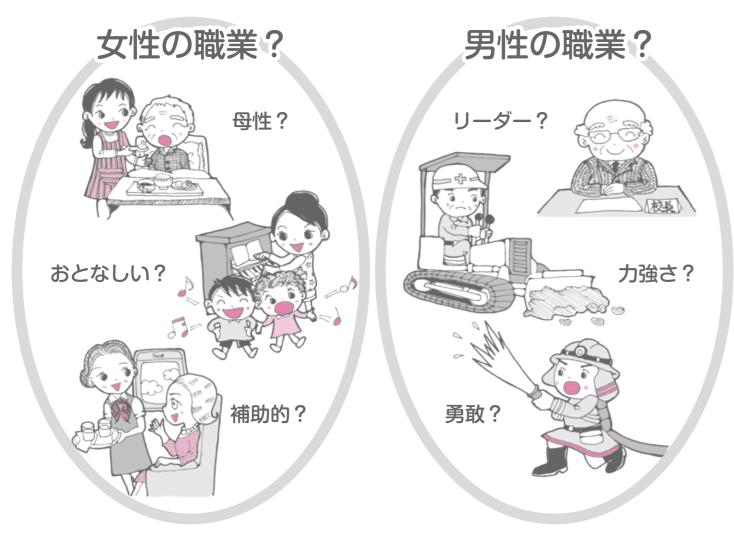
今回の特集では職業を通して、「男らしさ、女らしさ」という意識について考えてみました。



男性の職業?は性の職業?

男性が多い職業、女性が多い職業があります。

そもそも「男性の職業、女性の職業」という考え方は、どこから生まれてくるのでしょうか。



「男らしさ、甘らしさ」を決めつけていませんか?

身体的な性別とは別に、「男らしさ、女らしさ」という、社会的、文化的につくられた性別のことを「ジェンダー」といいます。

この「男らしさ、女らしさ」という決めつけが「男性の職業、女性の職業」という考え方に影響を与えています。例えば「男性は力強く積極的、女性は優しく気配りができる」などです。



少し前の話になりますが、「保母が保育士」に、「看護婦が看護師」になるなど、職業の名称が変わりました。

呼び名が変わることで、以前は「これは女性の職業だ、男性向けの職業だ」というイメージが付いていた職業にも、男性も女性も進出しやすくなりました。

「男らしさ、女らしさ」という意識も、案外ちょっとしたことで変わっていくのかもしれませんね。

廿性消防士にインタビュー

- **〇女性の消防士は何人?** 現在、女性消防士は3人います。私が一宮市で一番初めの女性消防士です。
- **○家族の反応は?** 家族は当初、「危険な仕事だから」と反対していました。危篤の状態の方やケガをした方の命を左右する現場で活躍する救急救命士になりたいと思い、専門学校に進みました。資格取得に向けて頑張っている姿を見て、次第に応援してくれるようになりました。 男性、女性、
- **〇仕事の内容は?** 入職後4年間は木曽川消防署救急係に配属され、24時間2交代で勤務をしていました。仕事の内容は男性も女性も同じで、救急車で急患の方を病院へ搬送していました。そんなとき、ご家族からかけられる「ありがとう」という言葉は、とてもうれしかったです。
- **〇女性であることのメリットは?** 現場勤務をしていたころ、先輩に「男性では、どうしても威圧感が出てしまうし、女性の体調のことは聞きづらい。女性ならではの良さを生かしていけ。」と言われました。体力面ではどうしても男性に劣りますが、「自分だからできること」をするよう、心がけていました。
- **〇今後は?** 主に救急業務を担当してきましたが、今後は事務仕事を通じて様々な知識を 身につけ、一生この仕事を続けたいです。

=同僚の声=

初の女性消防士として勤務し、出産、家事、育児をこなしながら、一生懸命取り組む彼女は、とても輝いています。母親ならではの大変さもあるかと思いますが、同僚でサポートし合い、今後も共に頑張りたいです。

男性、女性、 それぞれの良さがある。 一生この仕事を続けたい!



下方 由衣さん (消防本部) 勤続年数 6年

男性保育士にインタビュー

子どものために 考えることはキリがない! 日々感動をもらっています。



名和 勲さん (開明保育園) 勤続年数 8年

- **○なぜ保育士に?** 大学時代、小学校と保育園の両方へ実習に行きましたが、生活や遊び を通して子どもにいろいろ教えてあげられる保育士に魅力を感じました。女性が多い職場とは考えもせず、飛び込みました。
- **○働いてみてどう?** 周りの先生や保護者の方に自分を理解してもらえ、「男性だから」 ということを意識することはありません。保護者の方が「男性に預けて大丈夫なのか」 と思われるのではないかと、気になることはあります。
- **〇男性保育士の役割は?** 家庭には、父母、祖父母がいるので、保育士も男性も女性もいる方が、子どもが保育園を家庭に近い状態で受け入れてくれると思います。また、男の子も自然に保育士を目指してくれたらうれしいです。
- **〇やりがいは?** 子どもが初めて集団生活をする保育園の中で、保育士という存在は本当に大切だと思います。自分の思う保育ができず、悩むことも多いですが、基本は楽しく毎日充実しています。
- **〇後輩へのメッセージ** 子どもの発想は本当に自由で、常に驚かされます。人相手の仕事なので、その人その人の気苦労があると思いますが、自分らしさを大切に、楽しく保育をしてほしいです。

=同僚の声=

子どもには、男性ならではのダイナミックな遊びが大人気です。会議では、父親目線での話が聞けて参考になります。 園長は女性というイメージが強いですが、様々な経験をして、是非、男性初の園長を目指してほしいです。

以前は男性の職業、女性の職業と思われていた職業も、「男性も女性も活躍できる職業」に変わってきています。

「男らしさ、女らしさ」ではなく、その人の個性や能力を生かした、さまざまな生き方ができるようになるといいですね。